

カーボンニュートラルセンター 第1回会議 議事要旨

【日時】 令和6年1月31日（水） 13：30～15：30

【場所】 自動車基準認証国際化研究センター会議室

【出席者】〔メンバー〕 国土交通省（MLIT）、経済産業省（METI）、環境省（MOE）、（独）自動車技術総合機構交通安全環境研究所（NTSEL）、（一社）日本自動車工業会（JAMA）、（一社）日本自動車部品工業会（JAPIA）、（一財）日本自動車研究所（JARI）、日本自動車輸入組合（JAIA）
〔事務局〕 自動車基準認証国際化研究センター（JASIC）

【議題】

I 開会

- ・ JASIC 所長から事務局挨拶が行われた
- ・ 高瀬国際企画室長（MLIT）から挨拶が行われた後、資料によりカーボンニュートラルセンターの設置経緯の説明があった。

II 委員確認

- ・ 事務局から各委員の紹介があった。
- ・ 田邊自動車戦略企画室長（METI）、溝手脱炭素モビリティ事業室室長補佐（MOE、中村室長の代理）から挨拶が行われた。

III センター長及び副センター長の選任

- ・ 新国氏（NTSEL）がセンター長に、阿部氏（JAMA）が副センター長にそれぞれ選任された。

IV 議事

1. WP. 29の概要

- ・ 事務局から資料について説明があった。

2. 国等における電動化・交換式バッテリーの取組みについて

- ・ 国土交通省及び交通安全環境研究所から資料について説明があった。
- ・ 経済産業省及び日本自動車研究所からそれぞれの資料について説明があった。
- ・ 環境省から資料について説明があった。

3. 交換式バッテリーの国内外動向調査について

- ・ 基準分野及び標準分野の国内外動向について事務局から報告があった。

4. 自動車メーカーの交換式バッテリーの取組みについて

- ・ 日本自動車工業会から説明があった。

5. 今後の活動について

- ・ バッテリー交換式EVの国連基準策定に向けた国際的な機運を高めるため、年内に自動車分野のカーボンニュートラルに関する国際シンポジウムの東京での開催や国連自動車基準調和世界フォーラム（WP. 29）での働きかけを行うこととした。
- ・ 上記のシンポジウム等の具体的な対応や中期的な活動計画を検討するため、本会議の下にWGを設置し機動的に作業を進めることとした。
- ・ 第2回会議は、8月頃に開催することとし、WGでの検討状況等を踏まえて、本会議は年に3～4回の開催とした。

- ・ メンバーによる議論での主な意見は以下の通り。
 - ✓ 当面のステップとして国連での議論開始を目指すとして、基準化に向けて中期的な時間軸でのステップも見据えていく必要があるのではないか。
 - ✓ バッテリー交換式EVは、カーボンニュートラルの実現の選択肢の一つとして重要と認識。基準化や標準化には時間がかかると思うが、スケジュール感を共有しながら議論を加速化していただきたい。
 - ✓ 交換式バッテリーの国連基準は、安全性能と環境性能の両面で策定を進めることが必要。
 - ✓ 交換式バッテリーにかかる車両側の国連基準の対応を進めるにあたっては、交換ステーションといったインフラ側の標準化活動との連携も必要。

V その他

VI 閉会